

第81期

Taikisha VIEW

2025.4.1 ▶ 2026.3.31

証券コード:1979

ネットでアンケート ご協力をお願い

ご回答いただいた方の中から
抽選で100名の株主様に『電
子チケット(500円分)』をプレ
ゼントいたします。

※詳細は裏表紙に記載しております。



株主の皆さまへ

To Our Shareholders



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第81期の事業年度
(2025年4月から2026年3月まで)を終了しましたので、
概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **長田 雅士**

≡ 当期の事業環境について

当期における世界経済は、東欧や中東などの地政学的な
リスクの長期化や、各国の金融政策に伴う物価動向や金
融・資本市場の変動に加え、米国の関税政策への影響など
不安定な状態が続きました。米国では、エネルギー価格高
騰や金利の高止まりに伴う経済の下振れリスクも想定され
る一方、高所得者層の消費が底堅く、企業の設備投資も増
加し、総じて堅調に推移しました。中国では、不動産市場の
低迷や米中摩擦の影響による内外需要の低迷により成長
の鈍化が続いております。東南アジアでは、サプライチ
ェーンの再編に伴う設備投資の増加や、労働市場の改善な
どを背景に内外需要は堅調に推移し、経済はプラス成長を
維持しました。日本経済は、海外における金融政策や地政
学リスクなどにより景気下押しの懸念が続いたものの、雇
用・所得環境の改善やインバウンド需要等を背景に緩やかに
回復しました。

≡ 当期の業績について

当期における受注工事高は、国内・海外ともに増加し、
3,517億40百万円(前期比26.8%増加)となり、うち海外
の受注工事高は、1,854億80百万円(前期比32.4%増加)
となりました。

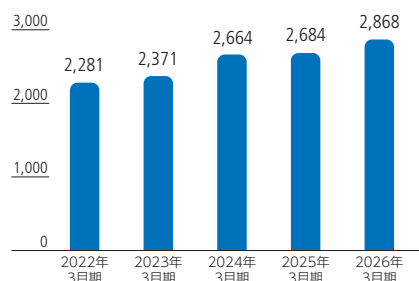
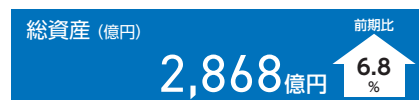
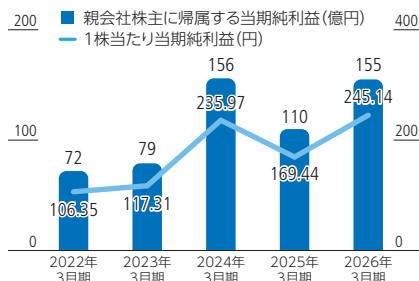
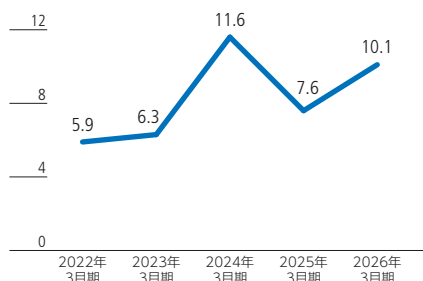
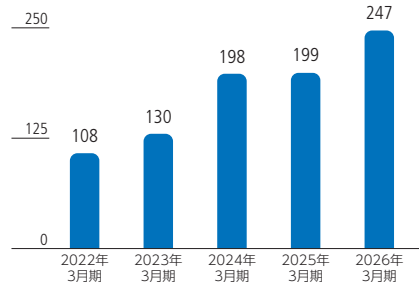
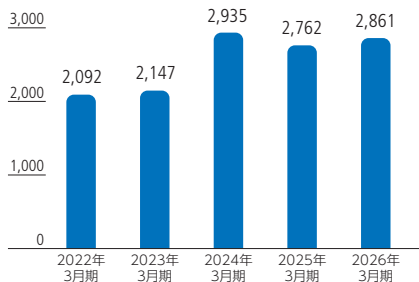
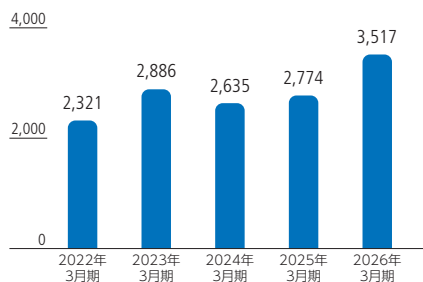
完成工事高は、国内は減少したものの海外で増加し、
2,861億27百万円(前期比3.6%増加)となり、うち海外の
完成工事高は、1,440億31百万円(前期比9.4%増加)とな
りました。

利益面につきましては、完成工事総利益は552億59百
万円(前期比102億53百万円増加)、営業利益は233億20
百万円(前期比53億49百万円増加)、経常利益は247億
90百万円(前期比48億52百万円増加)、親会社株主に帰
属する当期純利益は155億94百万円(前期比45億68百
万円増加)となりました。

業績・財務ハイライト



Financial Highlights



※2025年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期以前の1株当たり当期純利益については、当該株式分割が行われたと仮定し算定しております。

株主還元



Shareholder returns

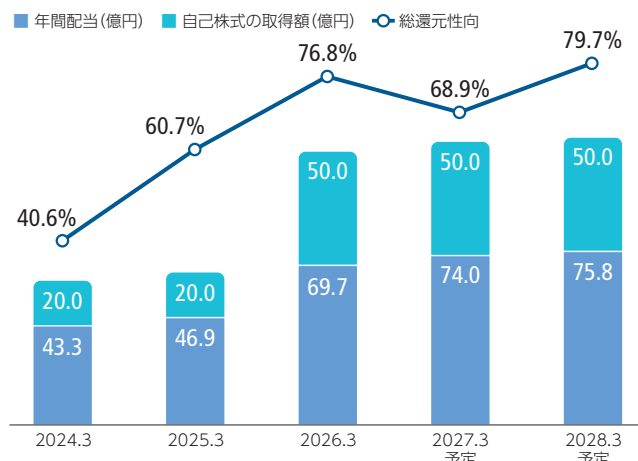
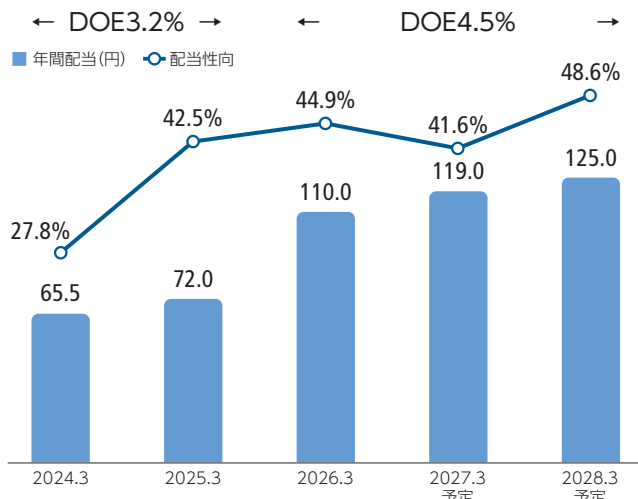
配当方針

連結自己資本配当率(DOE)4.5%を目標とし、安定的な配当を実施しています。10年プラン2035の中で、DOE水準について4%から5%以上への段階的な引き上げを予定していましたが、足元の収益性向上を鑑み、DOEを4%から**4.5%**へ前倒しで改定しました。それに伴い、2026年3月期の配当を110円に増額します。

自己株式取得の方針

資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として、2026年3月期より開始した中期経営計画期間において、自己株式の取得を年間50億円実施する計画です。(中計1年目の2026年3月期は、50億円の自己株式取得を実施済み)

2027年3月期年間配当金は119円に増配予定。



※2025年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を実施
2025年3月期以前の年間配当金額については、当該株式分割が行われたと仮定し算定



欧州戦略

欧州での超大型案件の獲得 塗装システム事業

- 欧州で数100億円規模の案件を受注
- 2024年に設立したTaikisha Deutschland GmbH (TDE)を中心に施工を進める
2029年3月期に竣工予定
- 今後も欧州拠点の拡充を実施予定



東アジア戦略

半導体需要の取り込み 環境システム事業

- 日本国内の半導体関連企業へのアプローチ
- 台湾拠点を軸とした、台湾半導体関連企業への追随



インド戦略

空調事業の拡大 環境システム事業

- 高成長が見込まれる市場を重点ターゲットに空調事業を拡大
- 多様な受注形態に対応可能な事業体制へ拡張を目指す
- 塗装システム事業との連携による事業拡大



● 事業分野別のインド主要拠点

日系案件獲得 塗装システム事業

- 塗装システム事業では、インドで拡大する日系企業の投資需要を確実に捉え、着実な受注獲得を目指す

ASEAN戦略

拠点連携で体制強化 環境システム事業

- 拠点横断の営業活動により、製薬メーカーから複数国でのリピート受注を獲得
- メガクラウドから受注した大型データセンターはASEAN各拠点から施工人員を集め体制構築





国内戦略

プロダクトマネジメント活動 環境システム事業



- フロントローディングとオフサイト生産管理からなるプロダクトマネジメント活動を実施
- これまで現場監督のノウハウに頼っていた部分が多かった設計図や工程計画について、仕様が共通する部分を前もって整理することで、プロジェクトの生産性改善やコスト最適化につなげる
- 進行中の大型半導体案件で、ユニット施工の割合を向上させ、現地施工工数を削減

北米戦略

オートメーション 塗装システム事業

- 北米において、米国デトロイト3に強みを持つオートメーション企業のM&Aを実施
- デトロイト3から中規模の自動化プロジェクトを受注

ドライ加飾 塗装システム事業

- 当社拠点にデモラインを設置、共同開発を開始予定

北米での空調事業拡大 環境システム事業

- 環境システム事業では塗装システム事業の拠点を活用し、バッテリーおよびデータセンター分野を起点に、成長分野での事業拡大を本格化
- 環境システム事業の施工ノウハウを技術移転させ、北米に進出している日系企業を中心に実績の積み上げ



2027年3月期通期業績予想

決算説明資料

<https://www.taikisha.co.jp/ir/library/presentation/pdf/pdf-index-20260515-01.pdf>

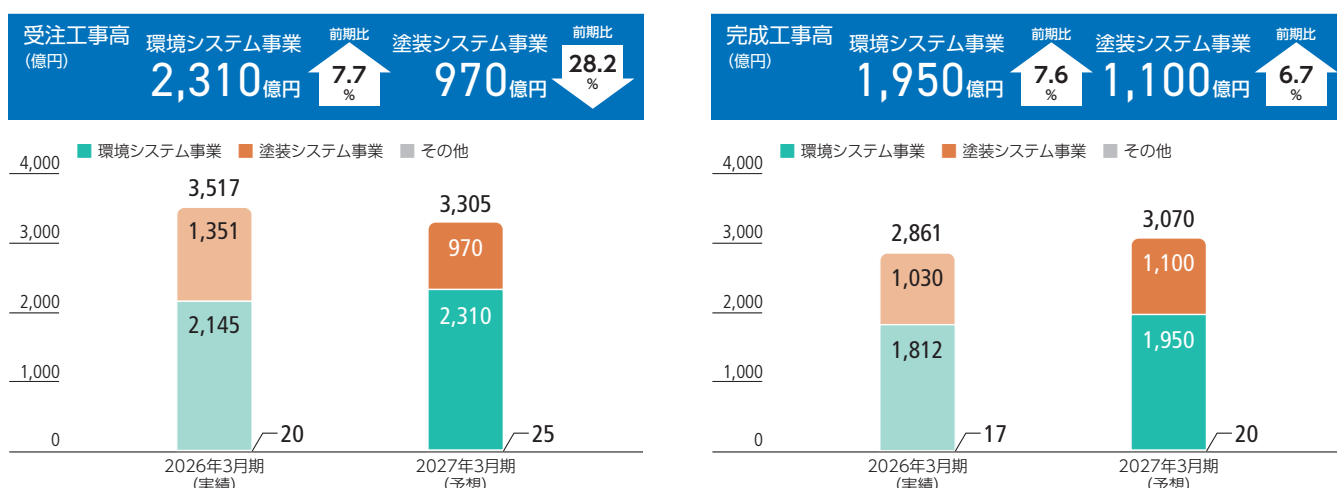


FY2027 Earnings Forecast

当社グループにおける市場環境の見通しにつきましては、国内外において、半導体関連メーカーやデータセンター関連の需要が高まっており、引き続き設備投資が継続すると予想しています。また国内のオフィスビルの需要は都市圏を中心に底堅く推移すると考えています。自動車メーカーに関しては、欧州・北米・日本などでは設備更新投資、インドなどでは増産投資が見込まれており、需要は底堅く推移すると想定しています。

受注工事高	3,305億円	前期比 6.0%	Point	環境システム事業の受注工事高は前期比増加となり、国内の大型案件を見込むことから、2期連続で過去最高を更新する見通し。一方、塗装システム事業は、前期の大型案件の反動減により減少を見込む。		
完成工事高	3,070億円	前期比 7.3%	Point	手持ち案件が順調に進捗することで前期比で増加の見通し。		
経常利益	250億円	前期比 0.8%	Point	完成工事高は増加するものの、中東情勢を含む事業環境の不確実性に加え、人件費や成長投資を中心とした販管費の増加により、経常利益は250億円と前期並みを見込む。		
親会社株主に帰属する当期純利益	180億円	前期比 15.4%		1株当たり当期純利益	285.72円	前期比 16.6%

セグメント別業績推移



※2027年3月期よりセグメント区分を変更。それに伴い、2026年3月期実績は当該区分に組み替えて表示。

環境システム事業

受注工事高	2,310億円	Point	市場環境は引き続き良好であり、また産業空調分野の国内において、複数の大型案件の出件を見込んでいることから、2期連続で過去最高の受注工事高を見込む。
完成工事高	1,950億円	Point	ビル空調分野は、比較的工期が長い手持ち案件が多く、出来高に寄与する案件が少ないことにより減少、産業空調分野は、国内海外ともに複数の大型案件の出来高寄与が見込まれることから、増加する見通し。

塗装システム事業

受注工事高	970億円	Point	前期に国内および欧州で大型案件があったことによる反動減があり、減少を見込む。
完成工事高	1,100億円	Point	海外で主に欧州の大型案件の出来高寄与を見込み、増加する見通し。

株主アンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



ネット
アンケート
Provided by TAKARA Printing

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから2026年7月24日(金)までになります。
- ご回答いただいた方の中から抽選で100名様に『電子チケット(500円分)』を進呈させていただきます。

アクセス方法



パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。

<https://q.srdb.jp/>



スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

世界中で活躍する大気社

大気社は海外19か国に28社の連結子会社を有しています。(2026年3月末現在)



拠点紹介

Taikisha Philippines Inc.

設立
30
周年

1995年4月に設立されたTaikisha Philippines Inc.は、2025年に創立30周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、協力会社を含むステークホルダーの皆さまのお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。昨年12月には記念式典を開催し、30年の歩みと挑戦の歴史を改めて振り返りました。

大気社フィリピンは今、「Be Engineeringを体現し、アセアンを代表する革新的エンジニアリング企業へ」というビジョンを掲げ、新たな10年に踏み出しています。その実現に向け、「Innovative Engineering」と「Global Inclusion」を戦略の柱とし、建築からM&E(空調・衛生・電気設備)、生産機器据付、メンテナンスまでのワンストップ体制の強化と、多様な人材が活躍できる組織づくりを進めています。

本中計期間は、非日系企業や現地財閥への展開を加速し、事業の多様化を図ります。加えて、データセンターや食品、モーターパーツといったフィリピンにおける成長分野に注力するとともに、再生可能エネルギーやGX・DX領域にも積極的に取り組んでまいります。

こうした地域ごとの成長機会を確実に捉えるため、当社は地域戦略部を新設し、アセアンでは「アセアン戦略室」を中心に各拠点の連携を強化しています。同室が購買・安全・品質のグループ内標準化を推進することで、グループ全体の競争力を高めています。

変化の激しい時代においても挑戦を恐れず、社員一人ひとりが価値を創出し続けることで、さらなる成長を実現して行きます。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

グローバルな人材育成

大気社では、今後のグローバル事業拡大を担う人材を早期に育成するため、若手社員を約1年間、海外拠点へ派遣する「海外トレーニー制度」を設けています。

本制度のもと、2025年度は4名の社員をインド・アセアンに派遣しました。フィリピンでのトレーニー期間を終えたばかりの若手社員の声をご紹介します。

大気社フィリピンで、現場管理・施工設計・設備提案の一連の工程を経験しました。英語が得意ではなく当初は現地スタッフとの意思疎通に苦労しましたが、拙くても自分から話しかけ、依頼内容は含みを持たせず具体的に言語化することを徹底しました。

安全・品質・工程を統括する現場運営を担いながら、負荷計算や機器選定、設備改善提案まで広い視野が求められる環境でしたが、主体的に取り組み、課題の可視化から解決まで一貫して携わりました。物流や天候、人員確保など制約の大きい環境では、日本と同じ前提が通用しない場面も多く、柔軟な工程管理とリスクを織り込んだ判断の重要性を学びました。

日本と海外のギャップを肌で理解し、固定観念にとらわれず最適解を導く重要性を実感しました。今後は、培った知見を基に、グローバル市場で価値を創出できるエンジニアとして成長していきます。



環境システム事業部
青山 大樹
(2020年入社)

研修先: Taikisha Philippines Inc.
(フィリピン)



〒160-6129

東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー

TEL: 03-3365-5320(代) FAX: 03-5338-5195

<https://www.taikisha.co.jp>



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022915

